



H21. 10. 6. №1265  
静岡県漁業協同組合連合会  
☎054-254-6011 Fax054-253-9343  
編集・発行＝指導部 漁政課  
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

### 1. 県内推薦の表彰団体 2 グループ 受賞決定 —第 29 回全国豊かな海づくり大会—

今年度の第 29 回全国豊かな海づくり大会（表彰行事に係る功績団体の推薦）について、豊かな海づくり大会推進委員会では、9 月 9 日開催の中央表彰委員会で慎重審議の結果、静岡県が推薦し、資源管理型漁業部門にエントリーした由比港漁協・大井川港漁協が、栄えある大会会長賞を、また、漁場・環境保全部門にエントリーした海藻おしば協会が、環境大臣特別賞をそれぞれ受賞決定しました。

由比港漁協・大井川港漁協は、資源にやさしい漁業管理の徹底や産卵調査の実施等その取り組みが評価され、マリン・エコラベル・ジャパン（MEL ジャパン）の生産団体段階での承認を共に受けたことが評価されました。

海藻おしば協会は、海藻おしばの作品展示や講演、更には環境学習としての海藻おしば教室を日本各地で開催した功績から、その地道な活動が認められ今回の受賞が決定しました。

なお、第 29 回全国豊かな海づくり大会表彰行事は、平成 21 年 10 月 31 日に国立大学法人東京海洋大学で行われます。ここに受賞を心からお喜び申し上げます。

### 2. 2009 年度 漁協運動功労者 38 人決まる

JF 全漁連では、9 月 16 日開催の漁協運動功労者表彰審査委員会で、全国の JF 漁連・JF 県信漁連等が推薦した合計 38 人を、2009 年度（第 24 回）の漁協運動功労者として決定しました。

本県からは、漁協運動功労者として、先に本会及び県信漁連から推薦した橋ヶ谷善生氏（小川漁協長・本会会長）並びに宮原淳一氏（由比港漁協長・県信漁連会長）が、地域漁業の生産基盤の拡充や組合の育成強化に尽力したほか、ともに漁協系統団体の役員として組織再編強化と経営基盤の充実に努めた功績が認められ、今回の受賞が決定しましたのでお知らせ致します。ここに受賞を心からお喜び申し上げます。

### 3. 平成 21 年度天草共販第 4 回入札会 開催される

本会では、9 月 16 日 伊豆漁協本所にて、天草共販の第 4 回入札会を開催しました。

4 回までの取扱累計は数量 62,374 k g、本数 2,509 本（前年比 18,989 k g、750 本減）、取扱金額 57,614,638 円（同 10,626,281 円減）、平均単価 9,237 円（同 850 円増）となりました。

なお、今回の入札結果は次のとおりです。

▽入札数量：16,744 k g（679 本）

▽取扱金額：14,839,578 円

▽平均単価：8,863 円（10 k g 当たり）

▽最高入札額：20,070 円（10 k g 当たり＜生産地＝稲取・銘柄＝まくさ粗改良＞）

**安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう**

## 自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

### 4. トラフグ漁が解禁！ 県内トラフグはえ縄の漁獲量は 40～55 トンと予想

本年度のトラフグ漁が 10 月 1 日から、解禁となりました。（清水漁協及び清水漁協用宗支所所属のフグ漁業者は 11 月 1 日から）

初日の舞阪漁港への水揚げ量は 4,387 k g、1 k g 当たりの最高価格は 5,369 円で取引されました。

また、1 匹当たりの平均重量は 0.82 k g、中でも大物は 4 k g が水揚げされました。

なお、今年度のはえ縄によるトラフグ漁に係る漁海況は、去る 9 月 11 日の県ふぐ漁組合連合会の組合員会議で、県水技研 浜名湖分場の花井主任研究員から説明が有りました。

それによると、東海 3 県（静岡・愛知・三重）のはえ縄による今漁期のトラフグ漁獲量は、昨漁期の同漁獲動向などをもとに推定したところ、今漁期の漁獲量を前年並みの 160 トンと予測されました。

さて、静岡県内のトラフグはえ縄漁獲量の予測値は、1 歳魚主体ですが 40～55 トンと前年並みか、もしくは前年をやや上回る漁獲が期待できると予想されました。

### 5. 平成 21 年度 桜エビ秋漁の操業日程を決定

#### —県桜エビ漁業組合—

県桜エビ漁業組合では、9 月 3 日役員会を開催し、本年の桜エビ秋漁について操業期間と休漁日を次のとおり決定しました。

▽操業期間：10 月 26 日（月）晩～12 月 25 日（金）晩

▽休 漁 日：10/31（土）、11/2（月）、11/7（土）、11/14（土）、11/21（土）、11/22（日）、11/28（土）、12/5（土）、12/12（土）、12/19（土）、12/22（火）

▽操業日数：50 日

また、秋漁を前に例年同様、「出漁対策委員会」が 10 月 15 日、「生産技術研修会」を 10 月 22 日由比港漁協、10 月 23 日大井川港漁協にて開催されます。

### 6. 「用宗漁港まつり」での浄財を、漁船海難遺児育英募金へ寄付

用宗漁港まつり実行委員会（斉藤政和会長）では、去る 5 月 17 日に実施された「用宗漁港まつり」での売上金の一部と来場者からの募金等を合わせ、9 月 14 日に実行委員長や静岡市関係者が本会を訪れ、海難遺児育英会の育英資金にと、本会（橋ヶ谷会長）に寄託されました。

これを受けて本会では、この貴重な浄財を財)漁船海難遺児育英会に送金し、遺児の育英事業に役立てて頂くことにしています。

### 7. 「地域資源活用セミナー」開催のお知らせ

#### —県漁連 販売部—

本会販売部では、来る 11 月 2 日（月）静岡市（県水産会館）において、①ブランド開発とマーケティングの実務等についての講演会 ②講師による水産物のアドバイス懇談会を開催します。

既に、漁協の皆さまには通知済みですが、多くの方がご参加下さるよう再度ご案内します。

【参加 受け付け締め切り→10 月 20 日（火）まで】

**漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう**